

題 言

技術家の第一經綸に聞け

失業者救済の爲に起すべき事業としては目下の處一般土木工事が主として擧げられてゐる。此は官民一致の希望であつて政府としても異議のない處であらう。

如何なる工事を先づ着手すべきか、土木の範圍は廣い國家經濟上慎重の考慮を要すべきは此の點である。

各々據る處の部門によつて先を争ふの狀態は又止を得ないが、大局に立つものは此等の適當なる判斷を要する、其判斷は決して政治的のものではなく、神聖なる技術家の考慮を要するものである。

國家の如何なる方面より見るも合理的なる工事は政治的にも相適合するものである。

霧島神宮驛の地下道

薩南の國都西線霧島神宮驛は七月十日開通式を舉行された。同驛が僻地の一小驛なるにかゝはらず跨線橋の代りに地下道を設けたるは注意すべき事である。もとより驛の上家とホームとの地形關係が地下道に便なるものありしとは云へ、混凝土構造の地下道が割合に安く出來たる經濟上の大なる理由がある。

混凝土に就ては材料工法ともに常に研究的施工に依り砂の如きは同地方の切取より生ずる白砂(シラス)と稱する火山灰の如き砂利を用ひ、飽水試験の結果一定配合の割合を以て經濟的施工をなし、應壓強度の如きは平均二百斤に達したりとの事である。

熊本建設事務所が各種工事の現場指導に多大の努力を拂ひつゝあるは現下の國情に對して最も喜ぶべき事の一である。

無 駄 の 排 除

國民生活の無駄排除は現在に於ても將來に於ても實行せざるべからざるもの、第一であ

る。然るに各種工事の施工に當つては從來此の事は餘りに等閑視された様である。

即ち工事技術の拙劣と研究の皆無よりして單に設計の形が出来さへすれば良いと言ふ程度に扱はれてゐた。營利を第一とする請負業者に於て近來漸く現場工事に無駄を省く事の合理的工法を考慮するに至つたが、實際の無駄排除はまだ々々左右充滿である。此の中に於てコンクリート工事に於ける。現場員の自覺は其強度を從來の設計強度より幾倍かに達せしむるに至つた。而して今や無駄排除の一大實例が其所に現はれんとしつゝある。

ハドソン橋工事の其後

ハドソンリバー・ブリッジの設計は米國の現場工事が如何に合理的に發達してゐるかを示す最新實例である。

其驚嘆すべき巨大なる設計は又實に細心周到なる施工技術に依つて着々進められつゝある。

本號紹介の寫眞記事は同橋工事の最高顧問たる老教授バー博士が我が那波光雄博士に最近贈られたる報告書の概容である。本工事に就ては工事畫報第五卷第一號に其全容を紹介したる第一回の寫眞圖を豊富に收められた、本號と對照して精覽されん事を乞ふものである。

眞田博士の水制研究

總て物の急所を捉へるには經驗ばかりでは出來ないもので、餘程の見識と研究とを必要とする。殊に河川は活物であるから其急所をねらつて適當な工事を施行しなければならぬのであるが、此が中々無闇ケしい事である。

眞田博士が近頃發表された『河川水流の制御に就て』と題するパンフレットは以上の目的に沿ふべき標準的な參考書である。非賣品であるから博士に乞ふて圖面と寫眞丈を紹介する筈であつたが、やつぱり説明と本文を加へないと所謂其急所の應用が利かない、それに洗鍊された行文が讀み易いものであるから遂に乞ふて全文を載せる事にした。(編者)